HIGASHI NIPPON TORYO PAINT PRODUCTS

R7. 3　Vol. 7

粘着層付通気緩衝シート

# HNT自着シート

# 施工マニュアル

東日本塗料　株式会社

粘着層付通気緩衝シート

# HNT自着シート

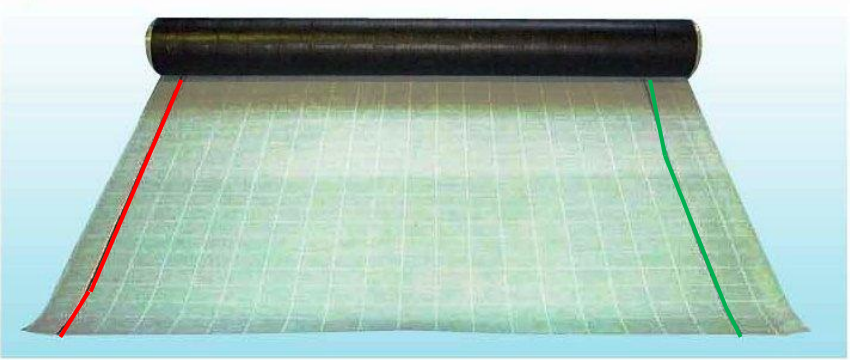
☆接着剤を使用しない通気緩衝シートです

- 突然の雨も撥水フィルム加工で対策万全。
  降雨後は雨を拭き取り乾燥させた後、ウレタン施工ができます。
- 補強布込みの構造で下地のワレ等にも追従し動きを緩衝する為、
  防水層の破断も防止します。
- 粘着層があるので、接着剤のオープンタイムなど考える必要がありません。
  施工時間の大幅な短縮もできます。
- 従来のHNT工法同様に、脱気筒を組み合わせ高い防水性能が
  発揮されます。

# HNT自着シート　製品仕様

| 品名 | 容量 | 概要 |
|---|---|---|
| HNT自着シート | 1.04m×15m | 自着通気緩衝シート |
| ラップテープ | 90㎜×50m | シート接合テープ |
| 端末テープ | 75㎜×25m | シート端末処理用テープ |

## シート写真



シート1本で約15㎡可能

## 端末テープ、ラップテープ

（左）端末ﾃｰﾌﾟ：1巻で約25m
（右）ラップテープ：1巻で50㎡弱
**実測して必要な量を確認して下さい**

# HNT自着シート施工例①

● 例えば約100㎡（約4人で施工）の場合・・・

HNT自着シート　1．04×15m巻き　⇒　7本必要
ラップテープ　50m巻き　⇒　約2～3本（約100～150m）
端末テープ　　25m巻き　⇒　最低2本以上（役物過多の場合＋α）
※外周の実測はあらかじめ確認して下さい。
脱気筒　25～50㎡に1本設定なので　⇒　最低2～4本
設置する為に工具（ドリル，ドライバー）を用意して下さい
その他　プライマー　フローン防水材（平場用　立ち上がり用）
ガラスクロス　トップコート　フローンシーリング等が
必要になります。
※プライマーは、下地によって使用材料が異なりますので、詳しくは当社にご相談下さい。

# HNT自着シート施工例②

● 例えば約100㎡（約4人で施工）の場合・・・

端末テープ　25m巻き ⇒ 最低2本以上（役物過多の場合＋α）

※外周の実測はあらかじめ確認して下さい。

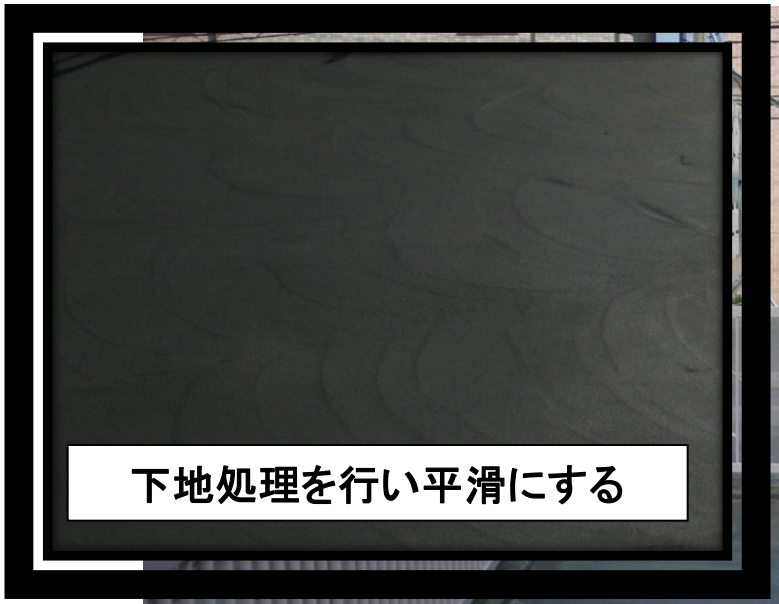
EX：

10m×10m⇒ 外周40m⇒2本

12．5m×8m⇒ 外周41m⇒2本

5m×20m⇒ 外周 50m⇒2本

# 1） 下地処理終了後の施工現場



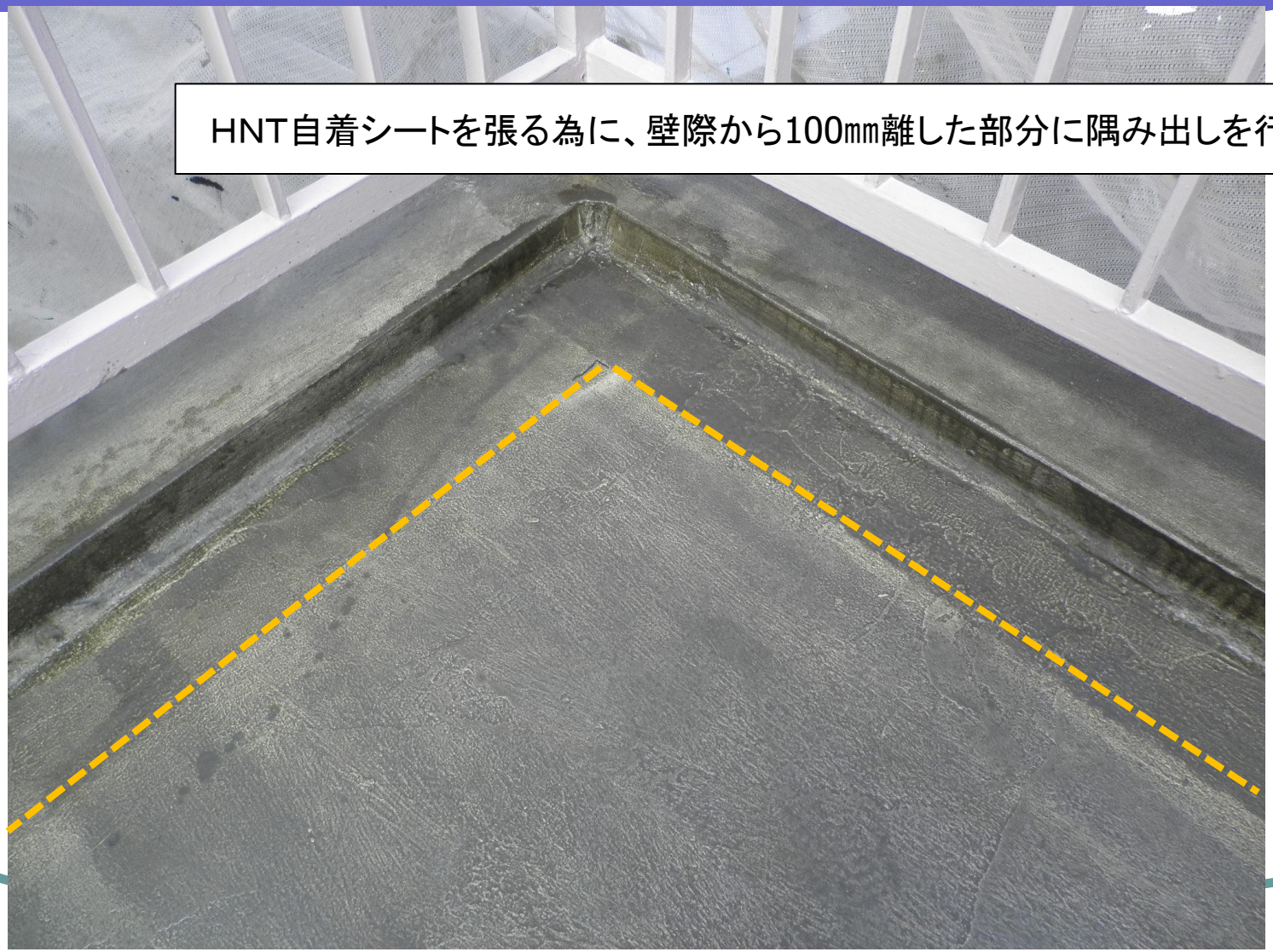
下地処理を行い平滑にする

プライマー塗布して下地を強化する

チェック項目　①　下地処理が、しっかり平滑である事。
②　プライマーがしっかり塗布してある事。
③　下地の脆弱部分が無い事。
④　下地の欠損部分が無い事。

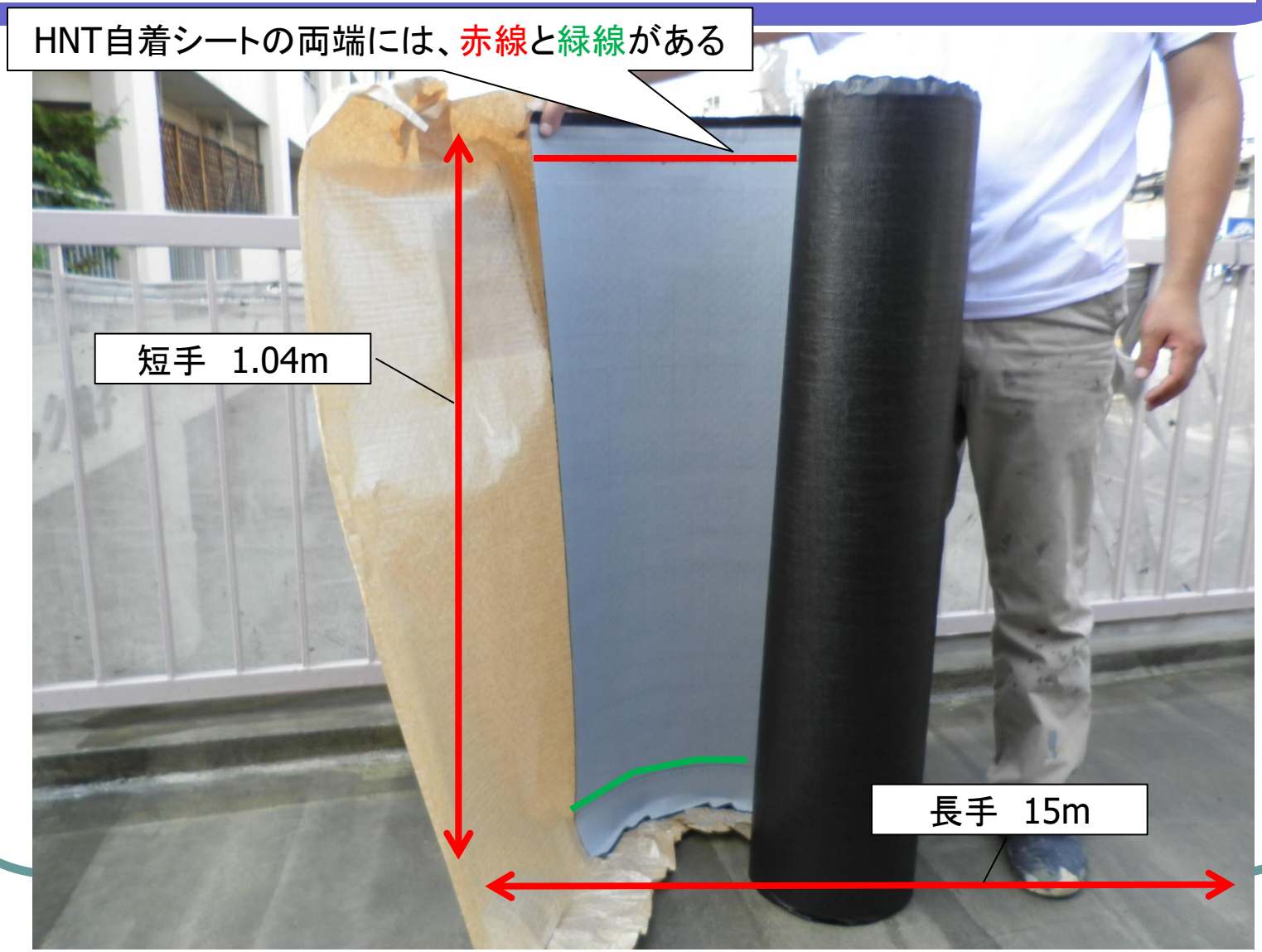
２） 貼り付け場所へ隅出し。
（立ち上がり部分と平場部分との境目入り隅から平場部分へ50～100㎜離したところにマーキング）※写真は、100㎜です。

## 3） HNT自着シートの張り込み端末部分に目標の線を引く。

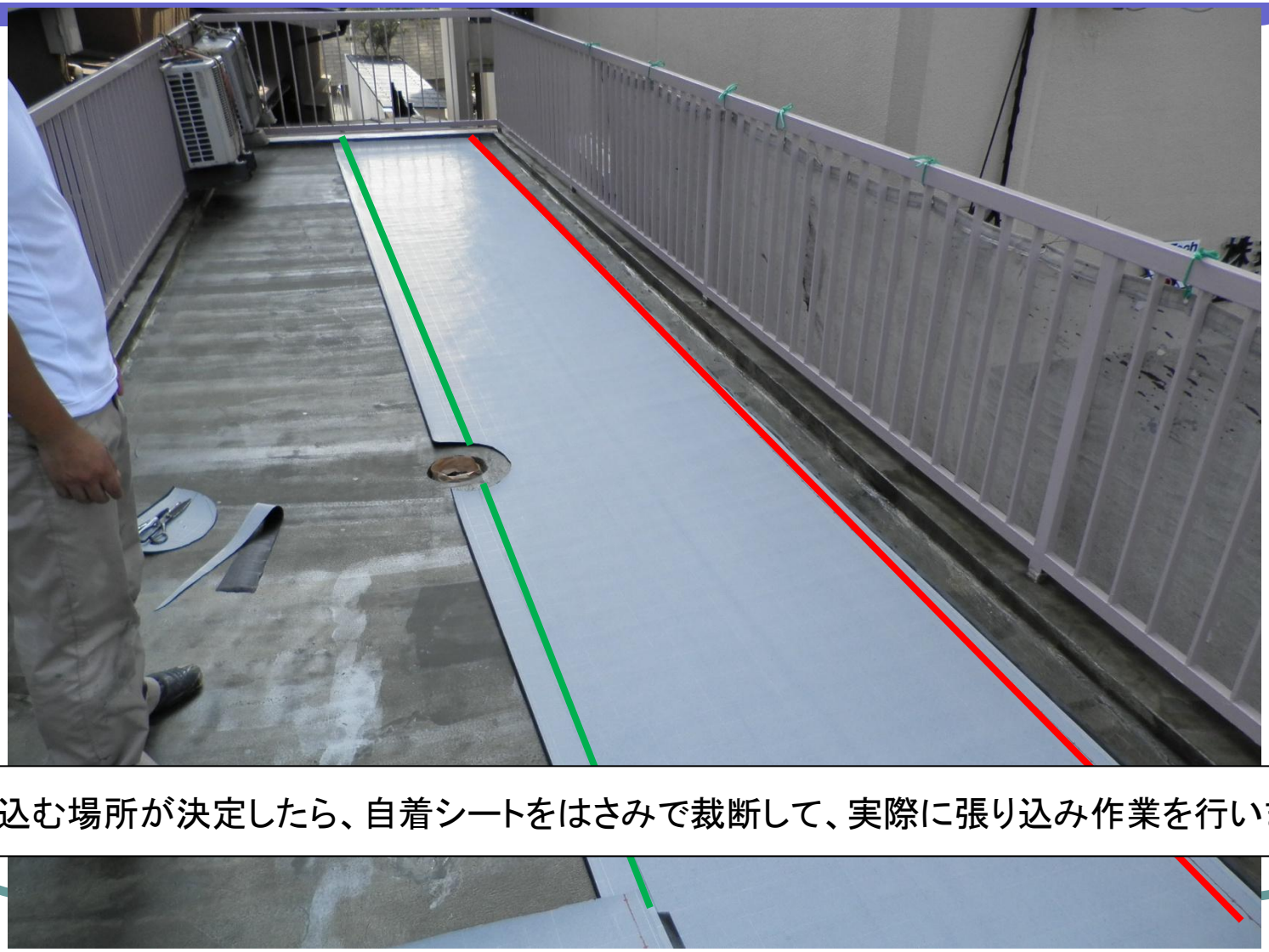


# 4） HNT自着シート　外観①

# 5） HNT自着シート　外観②

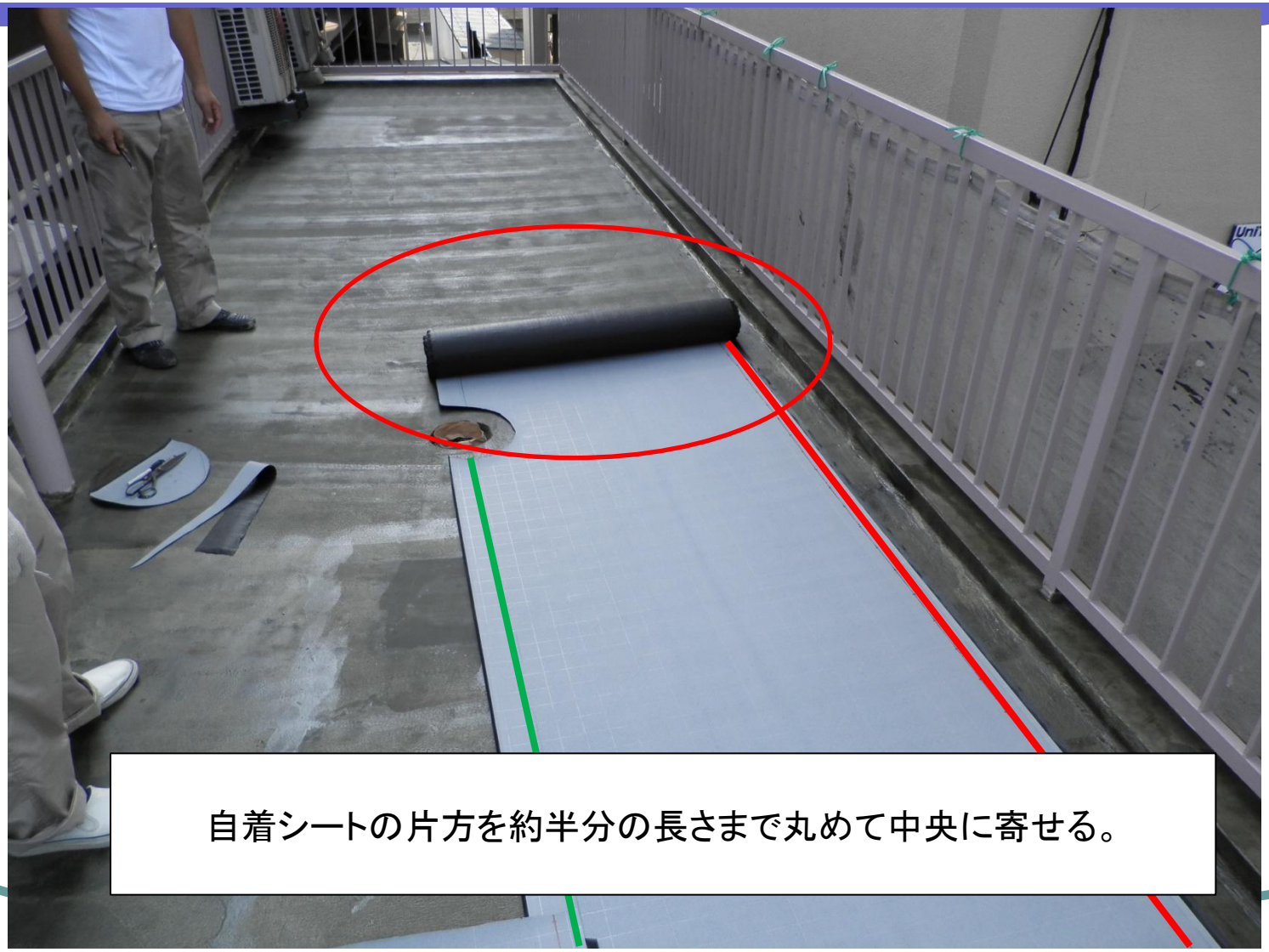


# 6） 仮敷き ①



張り込む場所が決定したら、自着シートをはさみで裁断して、実際に張り込み作業を行います。

# 7） 仮敷き ②



自着シートの片方を約半分の長さまで丸めて中央に寄せる。

## ８） 離型フィルムの切り込み

自着シートには、裏側に離型フィルムが付いています。
張り込む長さの約中心近くまで巻き込んで、離型フィルムに切り込みを入れます。
カッターを使用する際、HNT自着シートを傷つけないようにしてください。

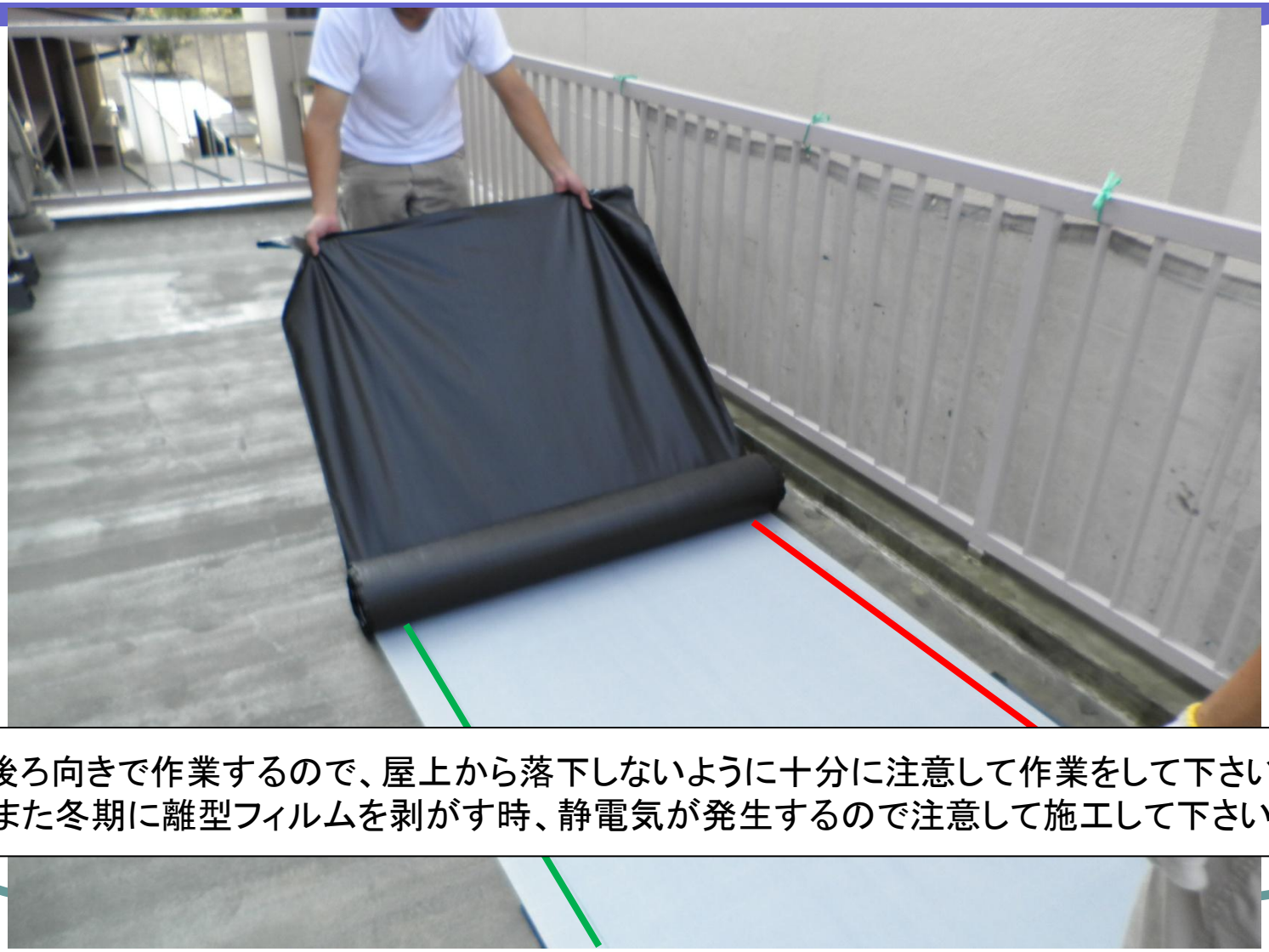
全体の長さの約半分近くまで巻き、離型フィルムにカッターを入れる。

## 9） 自着シートの張り込み①
離型フィルムに切り込みを入れたら、巻いた自着シートを張り付けます。

張り込む際は、後ろに引っ張りながら離型フィルムを剥がし、自着シートを張り込みます。

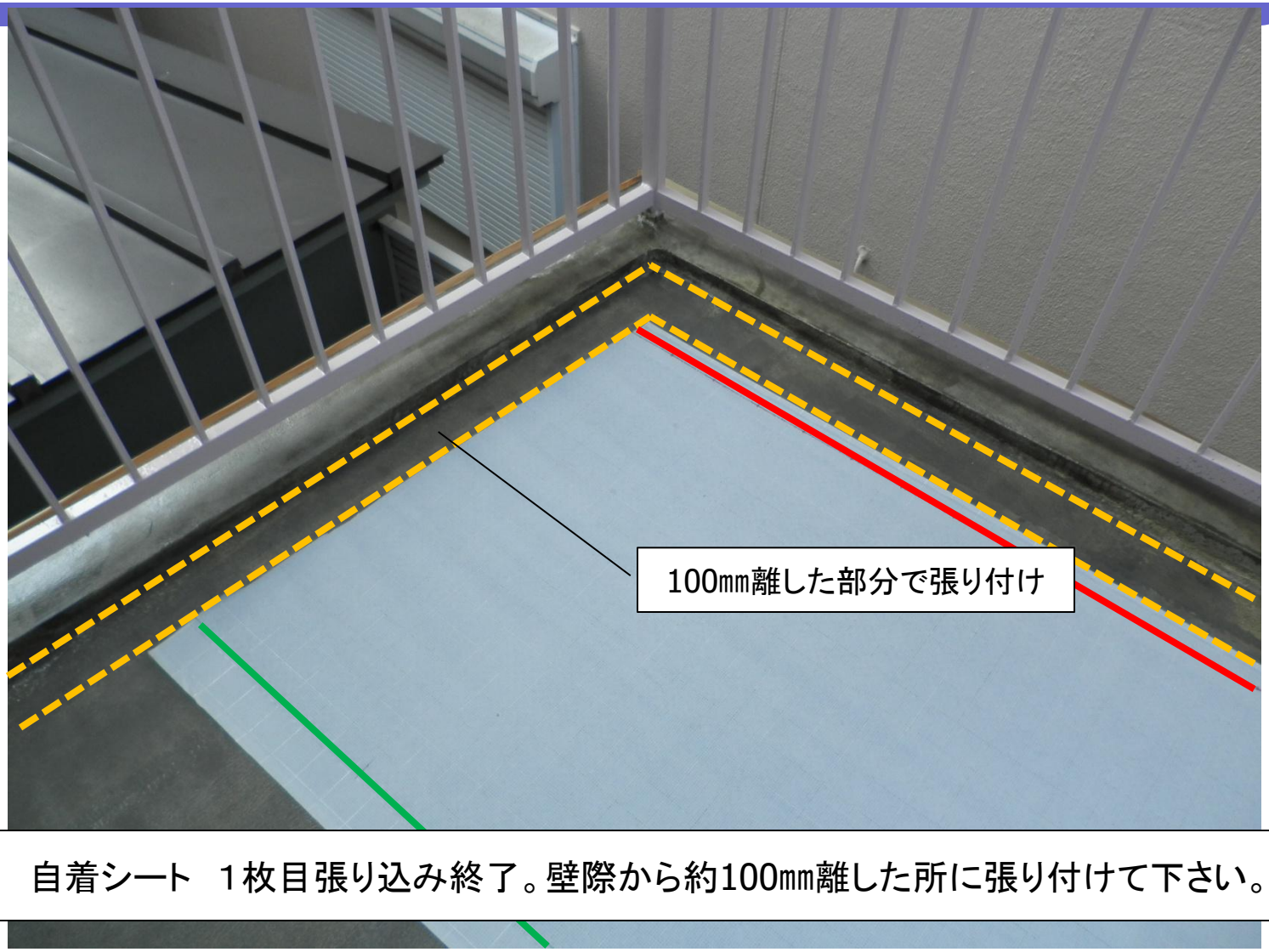
## 10） 自着シート張り込み②

離型フィルムに切り込みを入れたら巻いた自着シートを引っ張るようにして張り付けます。
この時、張り付け始めの部分を押える，またはあらかじめ張り付けて引っ張ると途中で
曲がらずに自着シートを張り付ける事ができます。



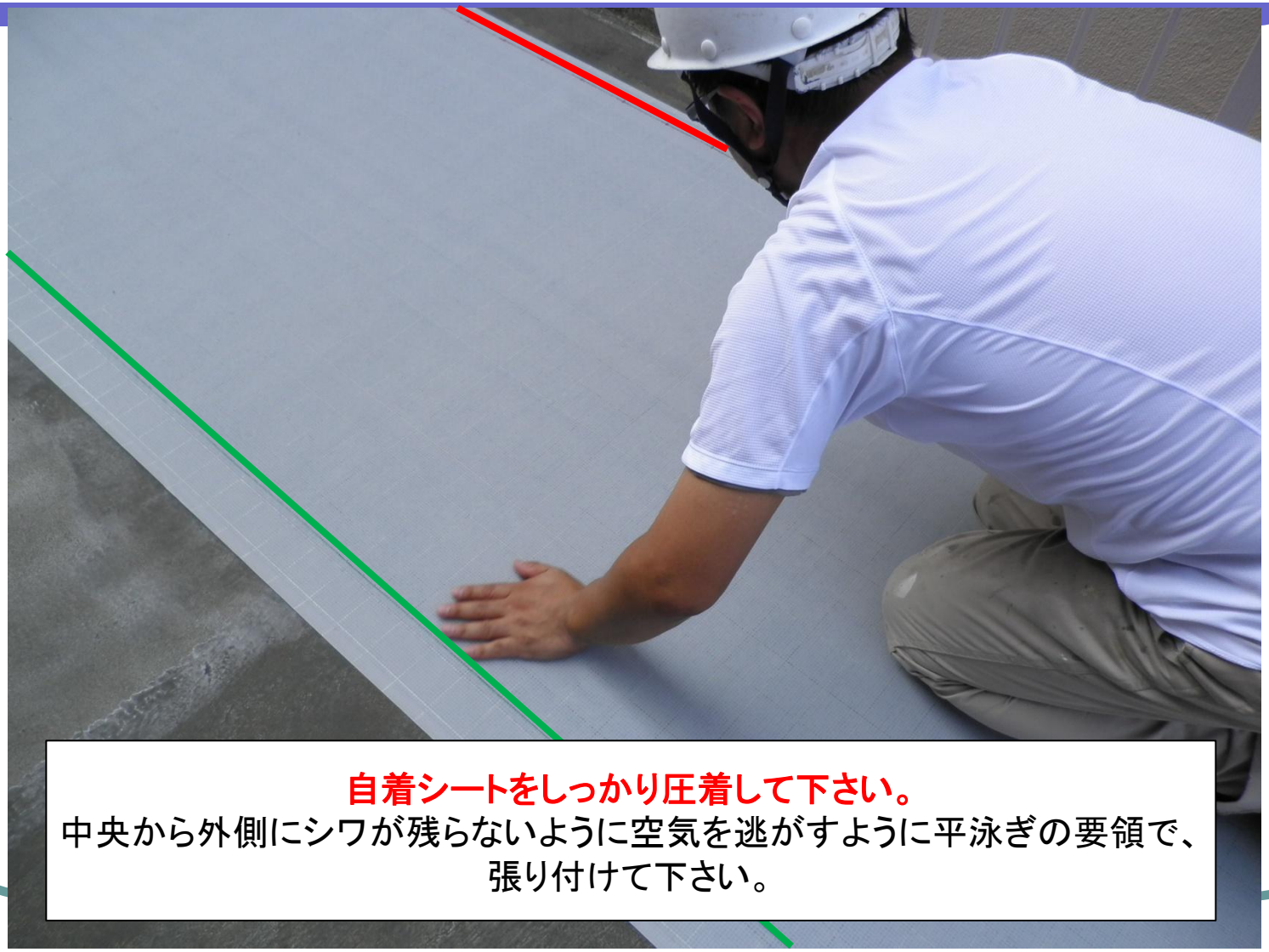
後ろ向きで作業するので、屋上から落下しないように十分に注意して作業をして下さい。
また冬期に離型フィルムを剥がす時、静電気が発生するので注意して施工して下さい。

# 11） HNT自着シート張り込み後




自着シート　1枚目張り込み終了。壁際から約100㎜離した所に張り付けて下さい。

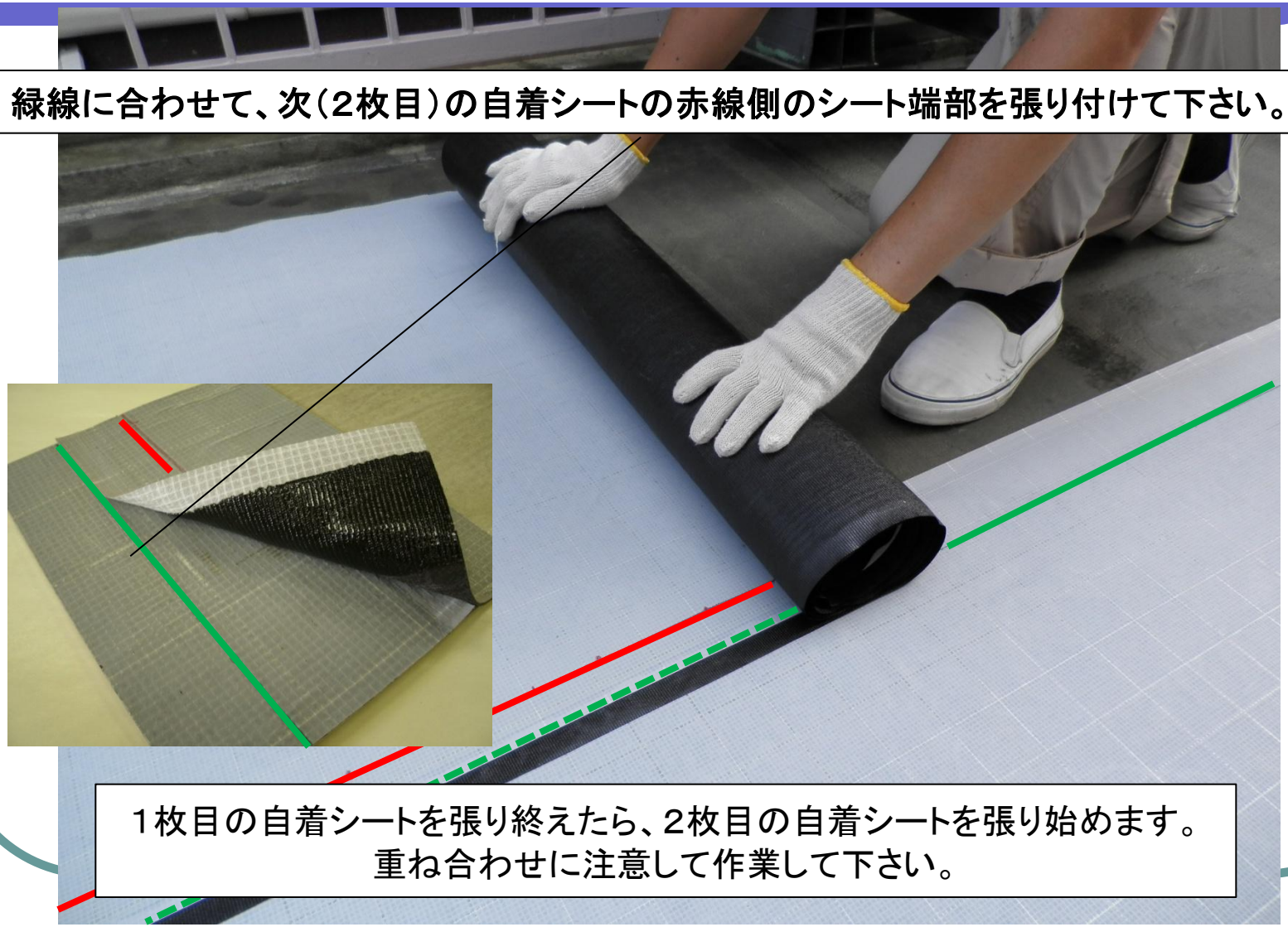
# １２） 自着シートの転圧処理



**自着シートをしっかり圧着して下さい。**
中央から外側にシワが残らないように空気を逃がすように平泳ぎの要領で、
張り付けて下さい。

# 13） 自着シートの重ね合わせ　※貼りの完成は、19）－②を参考

緑線に合わせて、次（2枚目）の自着シートの赤線側のシート端部を張り付けて下さい。

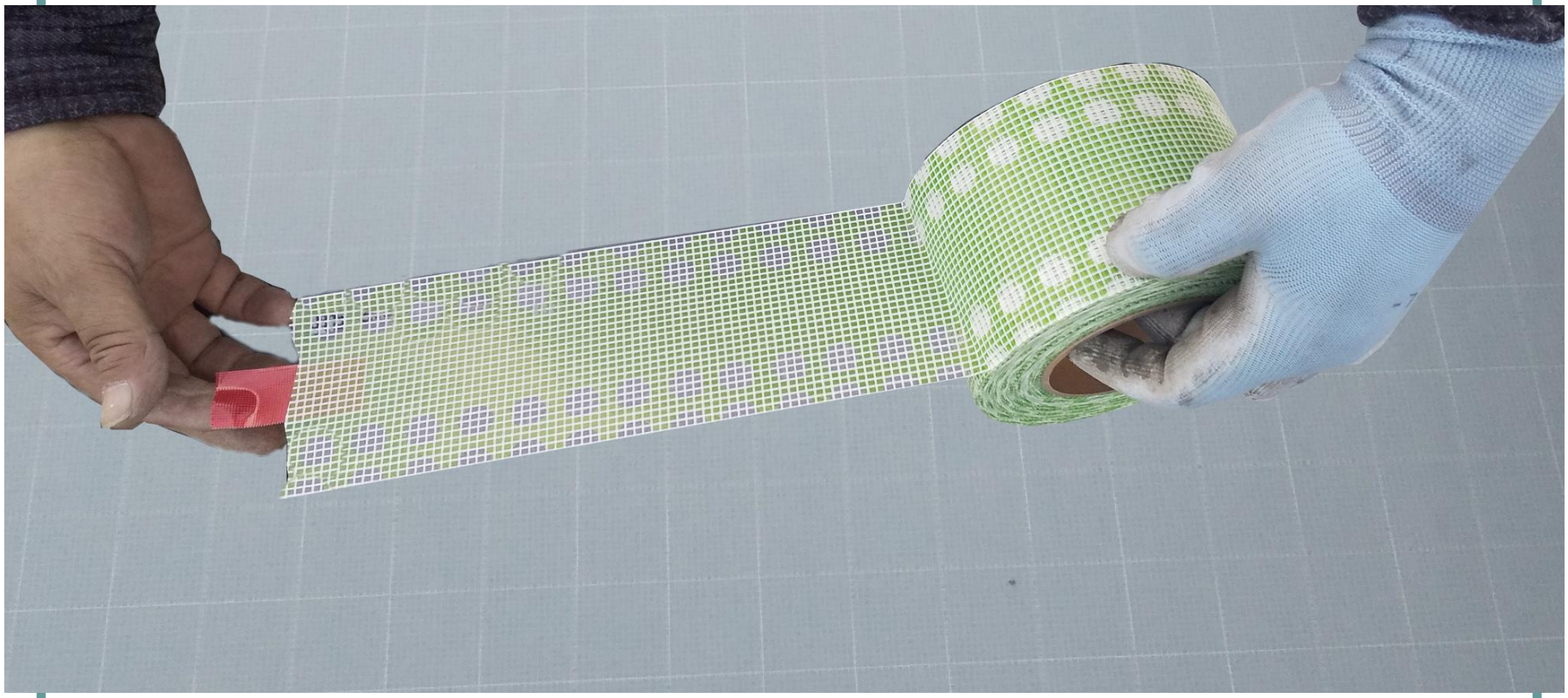


1枚目の自着シートを張り終えたら、2枚目の自着シートを張り始めます。
重ね合わせに注意して作業して下さい。

# ※　自着シート張り付け時に半端がでる場合

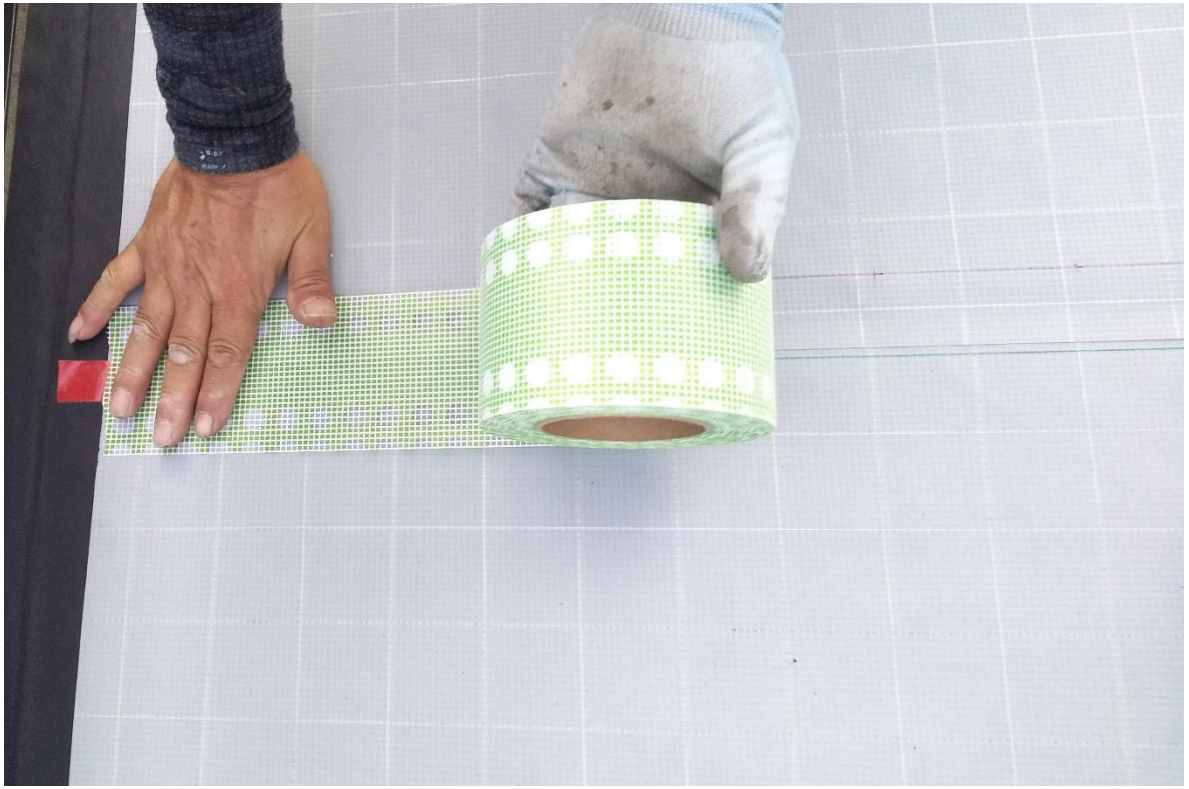
シートを重ねて張る際、最後は半端が出てしまう。
壁際から100㎜離してシートを折り曲げて切り取り、端末は端末テープにて処理して下さい。

# 14） ジョイント部の処理方法



シート間のジョイント部分は、ラップテープで処理します。
クロスが織り込まれた90㎜幅のテープになっており、片面に接着剤が付いてます。
（離型紙はついておりません）

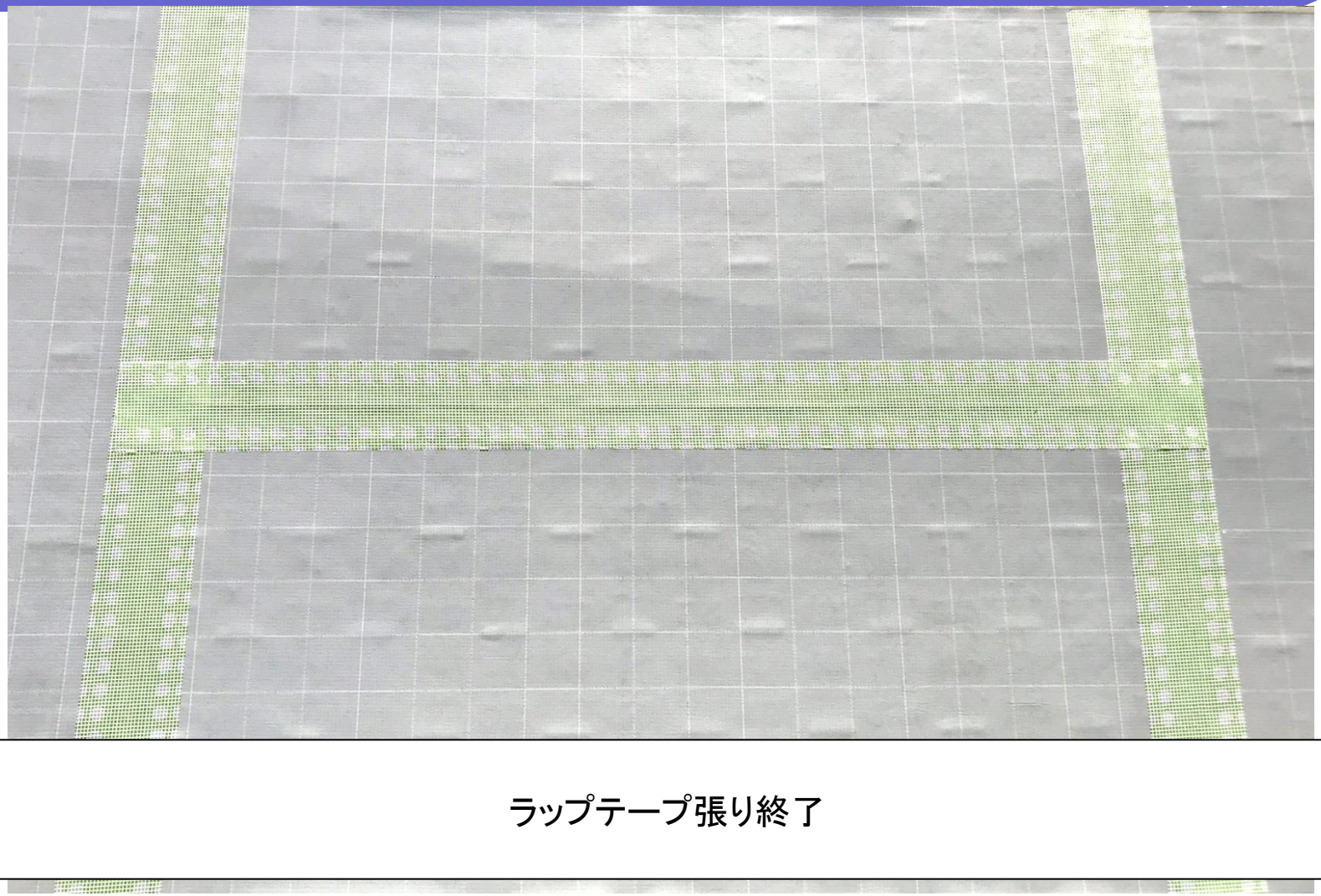
# 15） ジョイント部分の処理方法 ②



自着シートの重なり部分にラップテープを一直線に張り込みます。

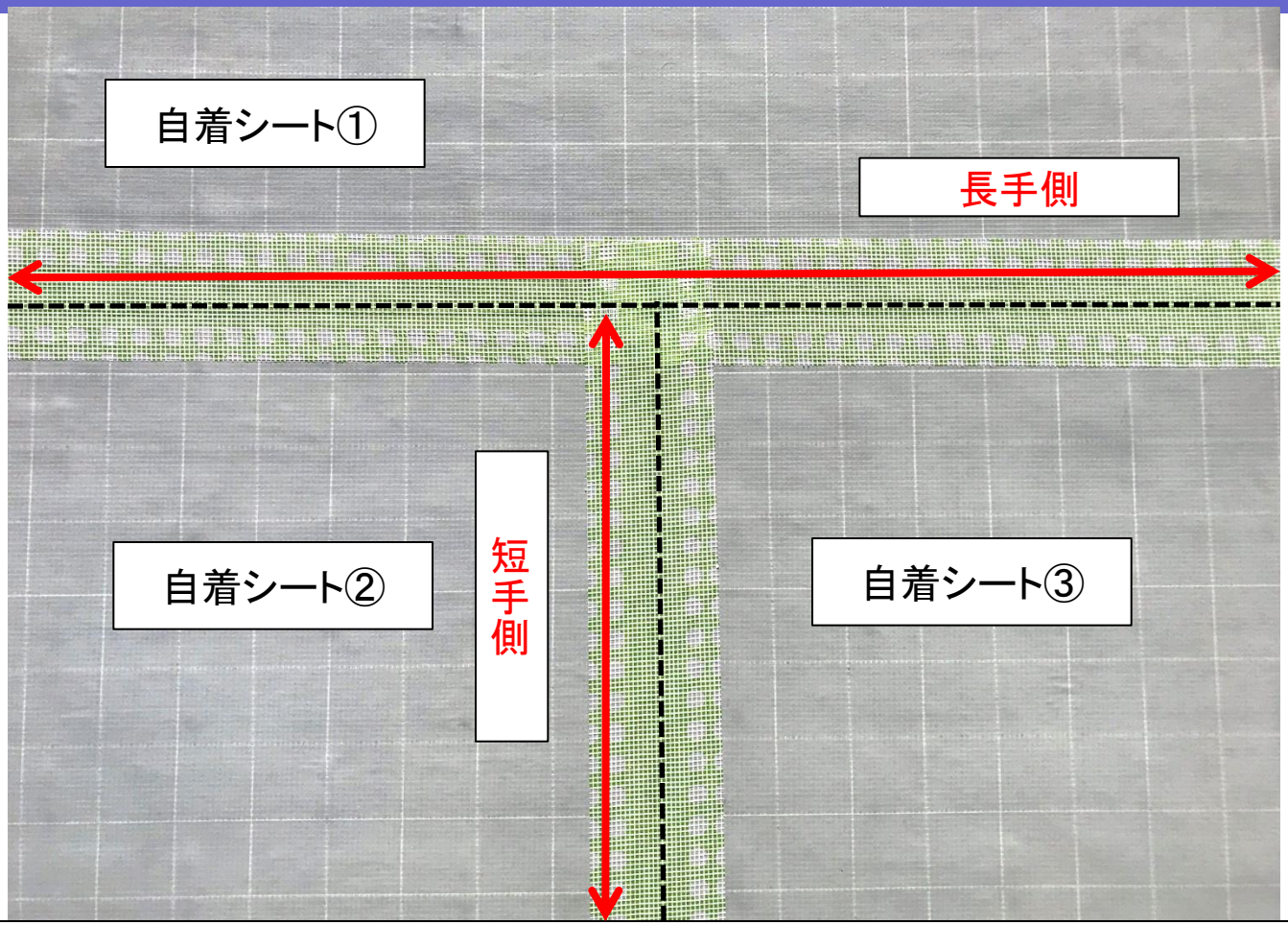
**※　ラップテープを張り付けた後は、しっかりと転圧して下さい。**

# 16） ジョイント部の処理方法 ③



ラップテープ張り終了

# 17） ジョイント部の処理方法 ④




自着シート②と自着シート③の短手のジョイント部は**突き付け**で張ります。
張り込んだ後、ラップテープで処理します。

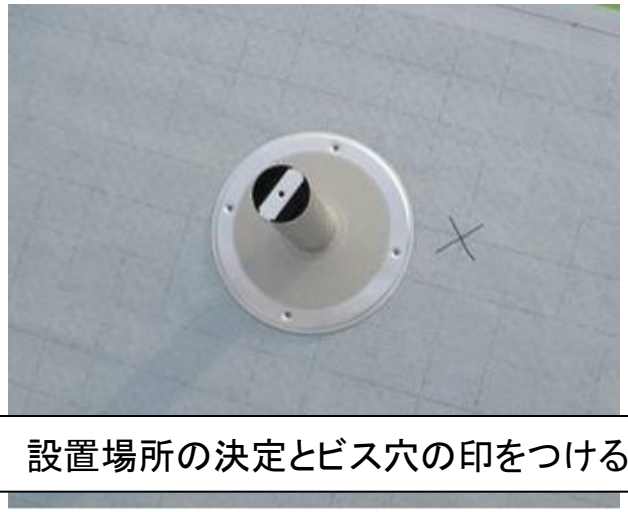
## 18） 端末処理方法

躯体立ち上がり側のHNT自着シートの端末は、すべて端末テープで処理します。
HNT自着シートの端末部分と、躯体に半分づつ重なるように、**75mm幅の端末テープ**を張り付けて下さい。**※外周廻りの長さを必ず計測してテープが不足しないようにして下さい。**
**※端末テープを張り付けた部分はしっかりと転圧して下さい。**
**（転圧が不十分な場合、浮きが生じる可能性がありますので注意して下さい。）**

# １９） 端末処理およびシート張り込み終了

自着シートを張り込み、外周廻りは端末テープ。ジョイント部分はラップテープを張り終了。
脱気筒ステンレスを設置し、ドレン廻り，立上がりを処理した後、
ウレタン塗膜１層を塗布して、その日の作業は終了になります。

# 脱気筒の設置 ①



1　設置場所の決定とビス穴の印をつける

2　脱気筒設定前に、シートを切り込む

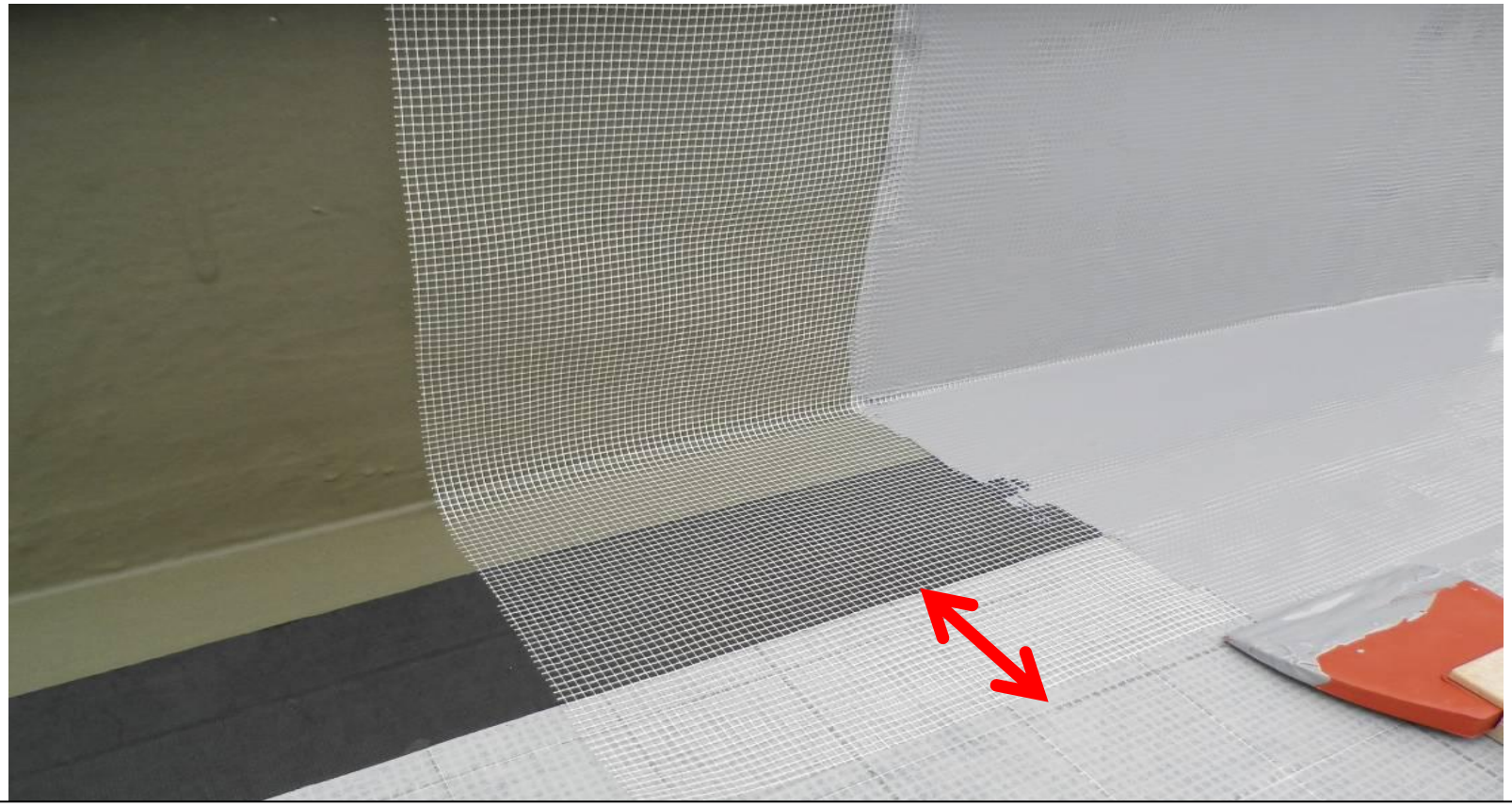
3　振動ドリル（φ4.5mm）でﾋﾞｽ穴を開ける

4　プラスドライバーでネジを固定する

# 脱気筒の設置 ②

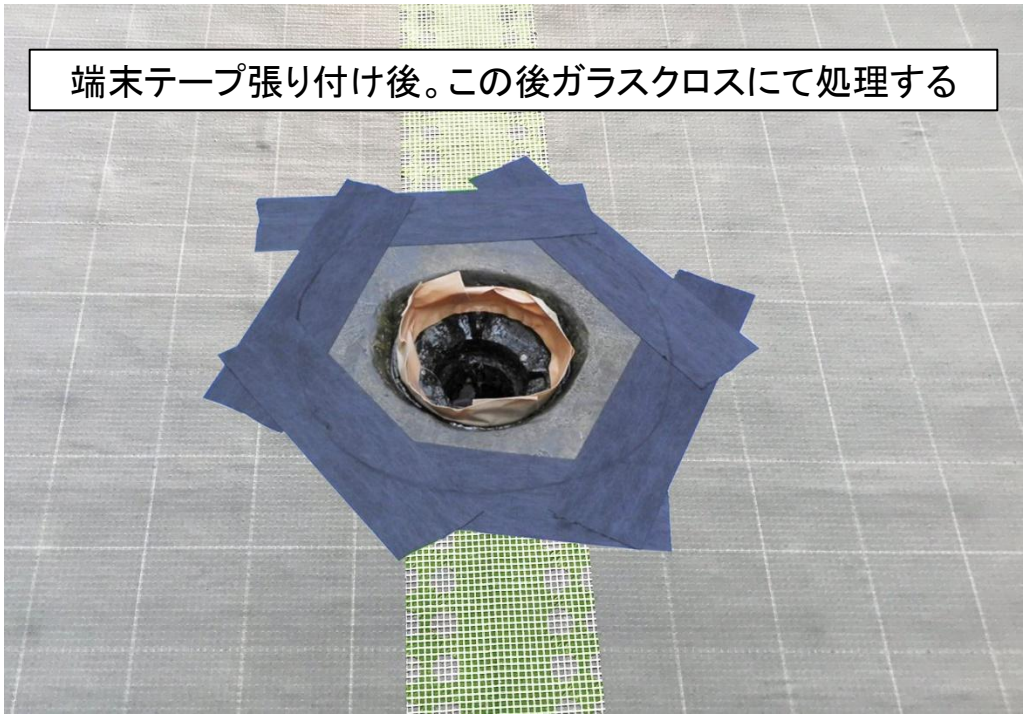
脱気筒ステンレスの根元を、脱気筒ステンレスの箱に入っている丸いガラスクロス・フローンシーリング・ゴムベラで補強する。

# 立ち上がり部　役物廻り



**立ち上がり部、役物は自着シートは張りません。自着シートは平場のみに張ります。**
端末テープ処理後、ウレタン防水材とガラスクロスでシートがめくれない様にします。
ガラスクロスがシートに約50㎜重なるように処理します（矢印部分）。

# 排水溝廻り




HNT自着シートは、排水溝から10cm間隔を開けて裁断して張り付け。
その後、シート廻りを端末テープ，ガラスクロスにて処理する。

# 下地の処理方法

【下地処理方法】

● ウレタン塗膜の場合
⇒
旧塗膜層を生かす場合は、プライマーUS，塗替えプライマーエコを塗布。
ウレタン層にフクレがある場合は、部分撤去後、ウレタン防水もしくはシーリングにて充填。

● 合成ゴムシート，塩ビシート，砂付アスファルトルーフィング防水の場合
⇒
シート防水層がある場合、全面撤去　接着剤等の撤去処理。
下地調整に無機防水　、フローンフィラー等にて下地調整。その後プライマー（※1）を塗布。

● 押えモルタルコンクリート層
⇒
X－1工法を参照
（下地が欠損等で凹凸が激しい場合は、無機防水、　フローンフィラー等で平滑にした後、
プライマー（※1）を塗布。）
（※1）　無機防水　の場合は、プライマーUSまたは塗替えプライマーエコを塗布。
フローンフィラーの場合は、プライマーHまたはエコプラ速乾を塗布。

# 注意事項

- シート重量　自着シートは約15kg有りますので運搬時は注意して下さい。
- 立ち上がりは自着シートは張りません。平場だけ張りますので注意して下さい。
- 作業終了時にシートの端末はすべて絶縁して下さい。降雨等による水の侵入を防ぐ為です。
- 冬期作業時は、自着シートの離型フィルムを剥がす際に、静電気が発生します。
  剥がす際は静電気に注意して作業を行って下さい。
- 自着シートを施工する場合は、高所での作業が多いと思いますので安全帯，ヘルメット等を
  着用して作業を行って下さい。
- シートを張り付けて端末テープで処理した後は、工期を開けずにウレタン防水材を
  塗布して下さい。
- 雨が降ってしまい自着シートが濡れてしまった場合は、晴れてから表面をウエスで拭いて
  しばらく乾燥。濡れてない事を確認した後次工程に進んで下さい。
- **端末部分の処理は特に注意して下さい。シートを張り付けた後、端末テープでしっかり押さえて
  さらに転圧作業を行って下さい。転圧の不十分な部分が浮きあがる可能性があります。**

# 標準工法
## フローン12　LW－4．2JSHZ　工法　（ウレタン3㎜仕上）

| | 材　　料 | 使用量kg/㎡ | 上塗り可能時間（23℃） | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 下地調整 | ――― | | |
| 2 | フローンプライマーU2　※1 | 0．2 | 3～24時間 | 原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布する。 |
| 3 | HNT自着シート | ――― | ――― | HNT自着シートの離着フィルムを剥がし、転圧をかけながらシートを張り付ける。シートジョイント部分は、ラップテープで処理。端末部分は端末テープにて処理する。 |
| 4 | フローン＃12 | 1．9 | 24～48時間 | A液：B液＝1：2の割合で計量し、電動攪拌機で混合し、コテにて塗布する。 |
| 5 | フローン＃12 | 2．0 | 24～48時間 | A液：B液＝1：2の割合で計量し、電動攪拌機で混合し、コテにて塗布する。 |
| 6 | スーパートップ遮熱 | 0．2 | | A液：B液＝1：2の割合で計量し、10～20%希釈後、電動攪拌機にて混合し、ローラー，刷毛で塗布する。 |

※1　プライマーHでも可能。
・立ち上がり面は、各防水材の立ち上がり面の仕様になります。
（　積算単価：￥13，500／㎡　）

# 標準工法
## フローン12　LW－3．2JSHZ　工法　（ウレタン2㎜仕上）

| | 材　　料 | 使用量kg/㎡ | 上塗り可能時間（23℃） | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 下地調整 | ――― | | |
| 2 | フローンプライマーU2　※1 | 0．2 | 3～24時間 | 原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布する。 |
| 3 | HNT自着シート | ――― | ――― | HNT自着シートの離着フィルムを剥がし、転圧をかけながらシートを張り付ける。シートジョイント部分は、ラップテープで処理。端末部分は端末テープにて処理する。 |
| 4 | フローン＃12 | 2．5 | 24～48時間 | A液：B液＝1：2の割合で計量し、電動攪拌機で混合し、コテにて塗布する。 |
| 5 | スーパートップ遮熱 | 0．2 | | A液：B液＝1：2の割合で計量し、10～20%希釈後、電動攪拌機にて混合し、ローラー，刷毛で塗布する。 |

※1　プライマーHでも可能。
・立ち上がり面は、各防水材の立ち上がり面の仕様になります。
（　積算単価　￥10，300／㎡　）

●お問い合わせは…

# 東日本塗料株式会社

R7. 3 改訂 Vol. 7


本　　社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18
TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306

埼 玉 工 場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13
TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518

仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20
TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320

新潟営業所/〒950-0871 新潟県新潟市東区山木戸3-7-9
TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730

静岡営業所/〒422-8037 静岡県静岡市駿河区下島128-1
TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063